

FTTH サービス

次のイノベーションは光ファイバーからやって来る!

このコーナーは、注目の製品やサービスについて、それを支える技術や市場動向の解説(セミナー)と具体的な商品を紹介(展示)する、バーチャル展示会。今回のテーマは、PCのインターネット接続以外にもIP電話(VoIP)とビデオ・オン・デマンド(VoD)が加わり、コンテンツが充実し始めたFTTHサービスだ。

さらばADSL

2005年はFTTHへ移行の年

今回のテーマは「FTTH」。回線事業者とISPの9社が参加して、計10サービスを出展している。

FTTHは、これまで本誌でも何度か取り上げてきた。ここでは最近の動向と将来の技術的な可能性について整理したい。2005年はまさにFTTHへの移行の年であると言えるようなトピックがいくつかある。ADSLを使っているユーザーもFTTHへの移行を検討してほしい。

第2段階へと進む

トリプルプレイサービス

トリプルプレイサービスは、現在その市場が急速に伸びつつある。

「トリプルプレイ」サービスとは、光ファイバーやADSLといったブロードバンド環境で「高速データ通信(インターネット)」「IP電話」「映像配信」の3つを提供するサービスのこと。

現在のトリプルプレイは、インターネットへの接続を基本サービスとする、PCを中心とした形になっている。しかし将

来的には(といってもすぐ目の前だ)ネットワーク対応のデジタル家電を中心とした形になると言われている(図1)。

PCを中心としたこれまでの使い方では、ウェブの閲覧、メールの送受信、ファイルのダウンロードといった、PC用データの送受信がその主な用途であった。しかし、次の段階ではテレビやビデオレコーダといったリビングにあるネット家電がPCに取って代わり、映像を中心とするコンテンツの送受信を行うようになる。

2004年は、コンテンツ配信ネットワーク

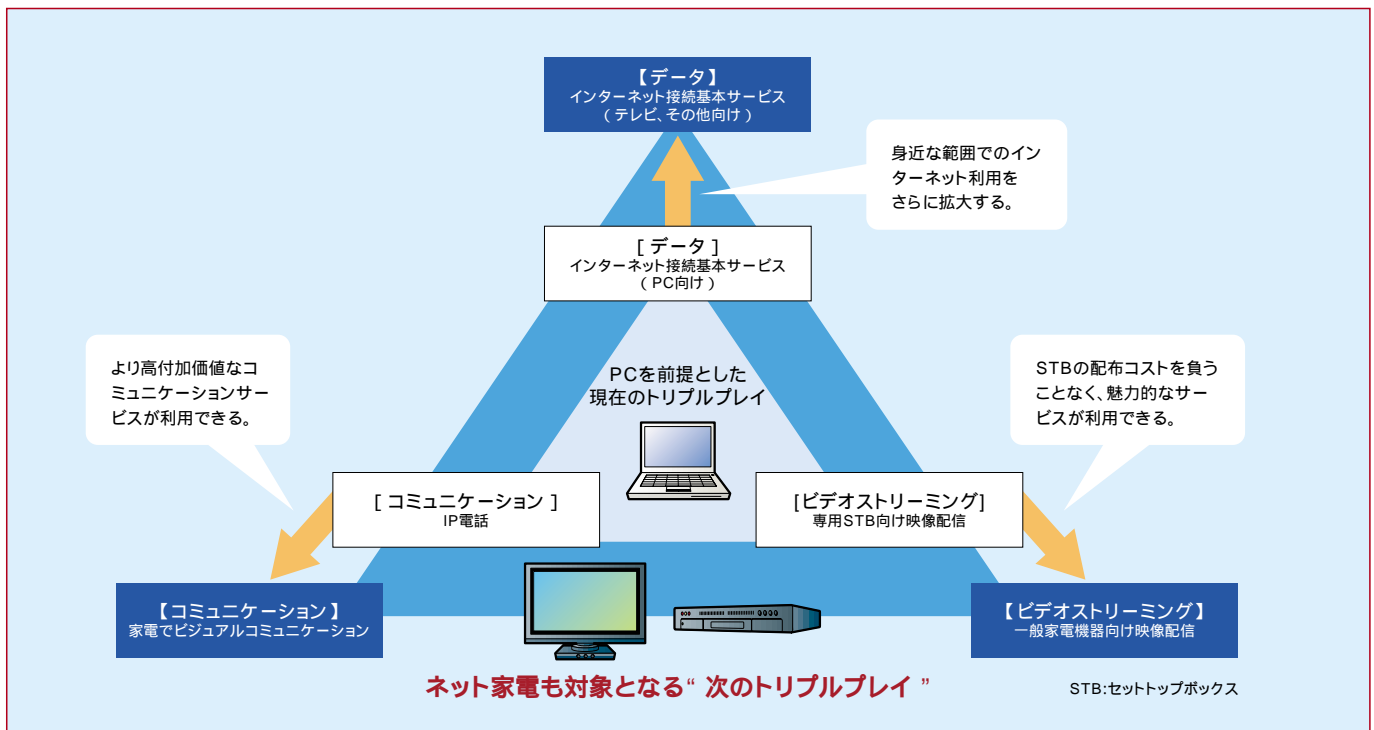


図1 トリプルプレイを演じる役者はネット家電によってさらに多彩になり、同時に回線への要求も高くなる

出展企業一覧

BROAD-GATE 01 / 02 有線ブロードネットワークス p.100、107	TEPCO ひかり 東京電力 p.101	@nifty ニフティ p.102
BIGLOBE NEC p.103	DTI ドリーム・トレイン・インターネット p.104	ぷらら ぷららネットワークス p.105
ASAHI ネット 朝日ネット p.106	WAKWAK NTT-ME p.106	MORANET モーラネット p.107

「4thMEDIA」を利用した多チャンネルIP放送サービスとビデオ・オン・デマンド(VoD)サービスが大々的に開始された。以前からの「BBTV」(Yahoo! BB)、「KDDI 光プラス TV」(KDDI)や同時期の「CoDen 光サービス」(NTT コミュニケーションズ)とあわせて、インターネットを通じて「テレビで見るための映像配信サービス」が立ち上がり始めたことで、PC 中心からネット家電へとトリプルプレイが第2段階へ進む年となる。

同じ光でも速くなっている 2005年版サービス

コンテンツの進化とともに速度も向上している。ADSL がよい例で、当初は1.5Mbps だったのが、今では50Mbps のサービスまで存在する。前述のように条件次第の速度ではあるが、「FTTH 並み」という印象は強烈だ。しかし、これまで10Mbps や100Mbps が主流だったFTTHも新しい進化を遂げている。GE-PON の登場だ。

GE-PON とは、回線終端装置または自宅までを1Gbps の速度でつなぐ方式で、今後の主流と見られている。すでに2004年10月にソフトバンク BB、11月にNTT 東日本、2005年1月にKDDI、2月にケイ・オプティコムがサービスを開始している。「最高速」の体験には、やはり光が最適だと言える。

高い伸び率を見せる FTTH 順調にユーザーは増加

総務省が1月に発表した「電気通信サービスの供給動向調査(平成16年度)」によると、国内のブロードバンドサービス契約回線数は2004年9月末の時点で1,763万回線。そのうちADSLは1,280万、FTTHは203万、CATVが279万となっている(図2)。いずれも増加中で数はADSLが最も多いが、2004年6月から3か月間の増加率を見るとFTTH(15.3%)がADSL(5.6%)を上回っている。この傾

向は今後も続いていこう。

サービスの提供事業者を見ると、例えばNTT 東日本は、2005年に入ってからFTTH(Bフレツツ)料金の値下げを行ったのに加え、さらに既存ユーザーに対してより高速なコースへの移行キャンペーンを行うなど、これまでになかった内容でユーザー獲得の攻勢をかけている。他の事業者もさまざまな特典でユーザーの獲得に力を入れている今、ユーザーにとっては加入・移行のしやすい時期であることは確かだろう。

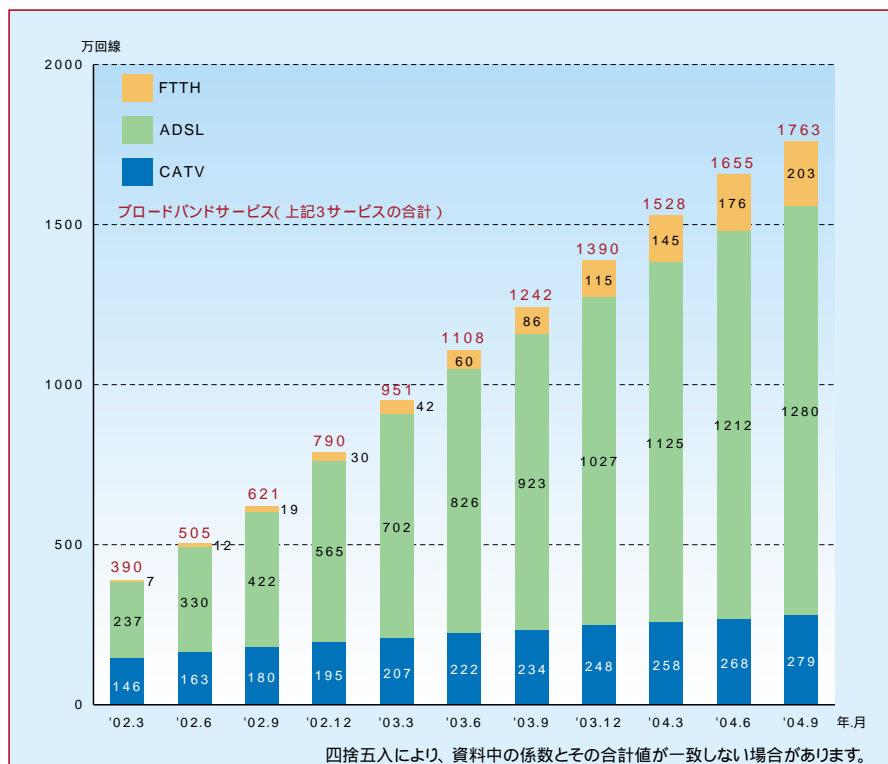


図2 ブロードバンドサービス契約回線数の推移(出典:総務省発表資料より)

トリプルプレイを実現する 最有力候補

次に、トリプルプレイを実現する最有力候補としてFTTHを評価してみよう。

まずトリプルプレイを実現するには、高速で安定した通信回線が必須となる。しかし、逆にこの条件を満たすことができるのであれば、それは必ずしもFTTHである必要はない。ADSLでも無線LANでもかまわない。事実、図2でも示したように、現在のブロードバンドユーザーのほとんどがADSLを使っているが、果たしてFTTHへ移行する価値はどの程度あるのだろうか。

地理的要因に依存せず 高いパフォーマンスを発揮

ADSLとの比較では、速度と安定性でFTTHにアドバンテージがあるという結論になるだろう。どちらもベストエフォー

トサービス型ではあるが、収容局からの距離が速度に大きく影響してしまうADSLは分が悪い。ADSLの50Mbpsコースで理論値に近い速度が出るなら、少なくとも受信においては問題ないと言える。しかし、実際にそれを享受できるのは非常に限定されたユーザーだけだろう。また、上りの速度に注目すると、圧倒的にFTTHの勝利となる。

インターネットの利用目的が、主にPCによるデータのダウンロードが中心であれば支障はない。しかし、今後ネット家電もつなげることを考えると、下りだけではなく上りの速度も重要となる。

ビジネス用途でも利点が多い 上り回線の速さ

最近では、多くの会社がVPNを導入し、社外から社内ネットワークへアクセスできる環境が増えている。自宅からアクセ

スして仕事の続きをやる、といったケースも少なくない。その際、ネットワークからのデータのダウンロードだけではなく、アップロードの操作も頻繁に行うことになるだろう。仮にADSLを使っている場合だと、アップロードの速度にはストレスを感じるようになるはずだ。どんなに条件が良くても、上りはせいぜい数Mbpsの速度しか出せないというADSLの限界があるからだ。

また、例えばSOHOの事務所などでADSLを使っていると、自宅から事務所のデータをダウンロードする時の速度は、事務所側からは上りとなるため、必然的に数Mbps程度になってしまう。

IP電話程度なら大きな支障はないだろうが、テレビ会議システムなどを使う際には注意が必要となる。

FTTHでは、速度の上限が高いように、上り下りの差もないため、ADSLに

光が運んでくる第4のキラアアプリケーション

通信、電話、映像が高速回線を活かすキラアアプリケーションであるなら、4番目にはいったい何が来るのだろうか？ マルチメディアコンテンツの流通を研究し、符号化や伝送プロトコルにも詳しい早稲田大学の亀山教授に、「次に来るもの」が何かを聞いてみた。

バンド幅が拡大すると同時に、さまざまなデータ圧縮技術(特に映像系)も進化しています。ますます多くのコンテンツを流すことができるわけですが、トリプルプレイの次にどのようなキラアアプリケーションが現れるのかについては、実は明確には見えていません。

これまでのサービスは、既存のサービスをIPネットワーク上で再現したものだと言えます。ところが映像の次となると、既存のものでは見当たらないので

す。それはこれまでにないまったく新しいものになるとも言えます。その新しい何かを考えて創造することは、新しいビジネスチャンスにつながるのかもしれない。

ただし、まだ研究中ですが、「インタラクティブ(相互作用)性」が鍵になりそうだという見方があります。ブナメディアでも、リアルタイムなインタラクティブ性を持たせると面白いものになります。例えば「トークトゥゲザーTV」や「トークバックTV」と呼ばれているもので、テレビの視聴者に対して臨場感を伝えるだけではなく、テレビの中(例えば中継先の会場など)にも視聴者側の臨場感をフィードバックします。つまりテレビとお茶の間の融合ですね。

やり取りする情報量が多ければ多いほど、互いの臨場感は増えますが、これ



亀山 渉

早稲田大学大学院 国際情報通信研究科教授。マルチメディアコンテンツ流通、メタデータ、符号化・伝送プロトコル等を研究。TV-Anytime Forumの副議長も務める。

は下りと上りの速度が高いことが前提ですから、そうなると現状ではFTTHが有力となります。

また、単に通信速度が上がれば済むわけではなく、PCであればOSやハードウェアが進化して行って、新しい何かが生まれるのではないのでしょうか。

はない安定した通信品質を得ることができ。そうならば、QoS(サービス品質)も保証されやすい。

また、広範囲のエリアをカバーする無線LAN規格WiMAX(802.16e)の存在も、ラスト1マイルをつなぐ手段として注目されている。しかし、電波であるために干渉の可能性は避けられないし、100Mbpsや1GbpsといったFTTHに匹敵する速度が出せるかを考えると、難しいだろう。

まだまだ止まらない 光の技術革新

FTTHはさらなる技術的な進化が期待できる。光ファイバー自体は非常に高いポテンシャルを持っている。現在は1Gbpsや10Gbpsのインターフェイスだが、これは単に規格が追いついてきているかどうかの話で、技術的には今後も速度向上が見込める。

実際に市場に出てくるかどうかは、技術的な理由よりも、家庭向けのインターフェイスとして出せるのか、安くできるのか、という点のほうが大きい。ギガビットイーサー自体は非常に安くなってきていて、10Gbpsのサービスが家庭に普及するのも時間の問題だと言える。

また、WDMの装置も安価になってきた。さらに安くなれば、それを使ってバックボーンの帯域幅を一気に何十倍にも拡張できる。

問題点があるとすれば、それだけのデータ量を扱うスイッチング技術のほうだろう。今の方法では追いつけない。光スイッチングの研究は進んでいるので、その成果が出てこれば一気にバックボーンが100倍、場合によっては1,000倍になるといったことが現実となる。

それだけの容量を何に使うかという話になるが、よりリッチなコンテンツの送受信のために利用できる。実は、現在提供

FTTHのメリット

ADSLとは違い、収容局との距離に影響されず高速で安定した通信が可能(大容量映像コンテンツの受信、テレビ会議システムなどに適している)

上りも高速で、データの送信側と受信側のどちらになってもストレスがない(遠隔地からの作業、サーバーの設置に適している)

無線方式に比べて安定度が高く、コストが安く、性能が良い(電波干渉の心配はなく、コストもADSL並みに安くなりつつある)

まだまだ性能アップの可能性を秘めている技術(将来的にWDMによって速度を100倍~1,000倍まで高めることも可能)

されているVoDサービスは、細々とエッジルーターで小さなCDN(コンテンツ・デリバリー・ネットワーク)を構成し、閉じた(クローズドな)ネットワーク上で行われている。これによってQoSが保たれているが、ユーザーが数百万人規模になると、それでは持ちこたえられない。そこでさらなるバックボーンの広さが必要になってくるし、ユビキタスということで公衆ネットワークを使ってサービスを行うようなことになれば、ネットワーク全体の帯域はさらに必要になる。

体験して初めて分かる 高速回線の使い道

トリプルプレイをきっかけに、さらにリッチなコンテンツやインターネットの活用には、より高速な回線が必要だということが認識されつつある。ダイヤルアップからISDN、ADSLやCATV、そしてFTTHへと進んできたインターネットのブロードバンド化は、回線速度の向上に比例して、扱うコンテンツも進化してきた。今のところブロードバンドユーザーのほとんどがADSL回線だが、FTTHの動向と提供されるコンテンツを見てみると、移行は急速に進んでいくだろう。

「10Mbpsも出れば十分」と考える人も多いが、一度FTTHの速さを体験してみると、これまでにない何か新しい使い方が見えてくるに違いない。

WDM

Wave Division Multiplex : 波長分割多重。
光ファイバー伝送系における大容量伝送方式の1つ。周波数や波長が微妙に異なる複数の光を同時に送受信することで、搬送波を多重化する方式。理論上は1本の光ファイバーで数Tbps~数十Tbps程度の伝送速度が可能。

CDN

Contents Delivery Network : コンテンツ配信ネットワーク。コンテンツ配信専用のネットワークを整備し、ボトルネックをなくすことで、コンテンツ配信の品質を保つことができる。コンテンツ配信ビジネスを行ううえで、QoS(サービス品質)の確立が重要となるが、それを実現する仕組みの1つ。データキャッシュ、ルーティング、ユーザーやコンテンツの管理/認証(DRM)/課金など、さまざま技術的要素を含む。

セミナーを終えたら
展示会場で
商品をチェック

Exhibition Hall

光回線からプロバイダーサービスまでワンストップで提供

BROAD-GATE 01

有線ブロードネットワークス(3月1日よりUSENに社名変更)

(URL) <http://www.gate01.com/>

回線事業者

ISP

グループ会社であるユーズコミュニケーションズが保有する光ファイバー回線を利用した有線ブロードネットワークスの「BROAD-GATE 01」は、シンプルなネットワーク構成で高いスループットを実現するとともに光回線向けコンテンツを豊富に揃えている。

光回線のパイオニア企業が提供する 日本最安値接続サービス

一般ユーザー向けの光ファイバー接続サービスのパイオニア企業、それが有線ブロードネットワークスだ。4年にわたるFTTHの提供実績を誇る同社では、「BROAD-GATE 01」という名称で、個人向けに光ファイバー接続サービスを提供している。光回線からプロバイダーサービスまでワンストップで提供しているのが特徴だ。そのためユーザーは、申し込みから開通、その後のサポートまでを同社から一貫して受けられる。

「BROAD-GATE 01」は、集合住宅向けと戸建て向けが用意されている。特に総戸数30戸以上のマンションユーザーの場合、プロバイダーサービスやメールアドレス、コンテンツ利用などすべてコミコ

ミで月額2,980円(一部有料コンテンツあり)という日本最安値の低料金が魅力だ。ADSL並みかそれ以下の値段で、下り最大100Mbps(ベストエフォート)の超高速通信を利用できる。また、集合住宅の住民にとって、光回線の導入は管理組合や管理会社、オーナーとの交渉に手間と時間がかかる。この作業を有線ブロードネットワークスが肩代わりしてくれる点も見逃せない。

充実したオプションメニューと 光回線向けのリッチなコンテンツ

「BROAD-GATE 01」では、メールアドレスの追加や出先でのダイヤルアップ接続が可能な「メールパック」「ウイルスチェック」「オンラインストレージ」などのオプションサービスも充実しており、大手



プロバイダーのメニューに負けない内容となっている。また、戸建て向けの「ホームタイプ」では固定IPアドレスが1個以上(最大5個まで)が追加料金なしの標準で提供される。有料オプションでの提供が多いなかで、特筆すべき点と言えるだろう。ネットワークカメラを接続して出先から自宅の様子などを見る際に役立つそうだ。

「BROAD-GATE 01」では通話料が安価なIP電話を提供しており、光回線と同時に申し込むと初期費用が無料だ。このIP電話は一般固定電話と通話品質も遜色ないうえ、「03-xxxx-xxxx」のような固定電話と同じ番号体系が使える。また、050番号体系で携帯電話への通話料がお得(1分16.8円)な「GATE CALL 050(M)」も選択できる。

さらに、光だからこそDVD並みの品質で楽しめるコンテンツも豊富に揃えている。「BROAD-GATE 01」開始当初からコンテンツ保持者と業務提携して、光回線の大容量性を活かしたコンテンツを多数用意。会員であれば約300以上のコンテンツが無料で視聴できる。現在、通常6,300円の基本工事費用が無料になるキャンペーンを実施している。

サービス概要

サービス名称	BROAD-GATE 01 ホームタイプ	BROAD-GATE 01(VDSL)*1
タイプ種別	戸建て住宅向け	集合住宅向け
最大通信速度	下り上り最大100Mbps	下り最大100Mbps、上り最大50Mbps
IPアドレス数	1個以上(最大5個まで): 固定IP	1個
ダイナミックDNS	あり	あり
接続可能台数	5台	5台
接続方式	VLAN	VLAN
メールアカウント	- *2	1個
ホームページ容量	- *2	20MB *3
IP電話	GATE CALL 050(M) / 050番号形態 GATE CALL / 0AB - J番号形態	GATE CALL 050(M) / 050番号形態
映像配信サービス	10000以上のコンテンツあり	10000以上のコンテンツあり

*1 このほかLANタイプもあり

*2 月額315円でメールアドレス付与とホームページベースと一緒に提供される

*3 月額315円で追加メールアドレス5個、追加ウェブスペース(20MB / 1メールアドレス)、ダイヤルアップIDサービス、オンラインストレージ&フォトアルバム(500MB)が提供される「メールパック」を用意
ベストエフォートサービスのため、インターネット利用時の通信速度を保証するものではない

利用料金

サービス名称	BROAD-GATE 01 ホームタイプ	BROAD-GATE 01
初期費用 *4	34,650円	9,450円
月額利用料	プロバイダー料+回線利用料	5,040円
	モデム利用料	945円

*4 2月28日までに申し込むと、基本工事費(ホームタイプは15,750円、VDSL方式は6,300円)が無料になる

問い合わせ先

株式会社有線ブロードネットワークス

(3月1日より)(株)USENに社名変更)

ブロードバンドカスタマーセンター

0120-359-882

(10:00 - 18:00 年中無休)

一世帯に1本「占有型100Mbps」光ファイバーを引き込む

TEPCO ひかり

東京電力

(URL) <http://www.tepco.ne.jp/>

回線事業者

一世帯ごとに1本の光ファイバーを割り当てる「占有型」のFTTHを提供するTEPCOひかり。回線品質に厳しい外国語レッスン「NOVA」の「お茶の間留学」で採用された事実がその実力を物語る。双方向の参加型コンテンツを各種揃えるなど、幅広い取り組みのなかで提供されているサービスだ。

安定した品質を提供する 占有型の光ファイバー

東京電力は首都圏を中心に「TEPCOひかり」の名称で最大100Mbpsの光ファイバーによるネット接続回線を提供している。最大の特徴は、一世帯ごとに1本の光ファイバーを割り当てる「占有型」のネットワークを構築している点だ(戸建て向けコース)。占有型は近隣ユーザーのトラフィックに影響されことなく安定した品質での通信が確保されている。

この「品質」に目をつけたのが、IPテレビ電話で外国語会話レッスンを行うNOVAだ。レッスンは有料のため、映像や音声の乱れは許されない。NOVAが要求した回線は、IP電話の最高品質基準であるTTC(社団法人情報通信技術

協会)標準のJT-Y1541「QoSクラス0」を満たしていること。ベストエフォート型のブロードバンド回線にとって厳しい条件を、TEPCOひかりは難なくクリアした。

加えて家庭用オンラインゲーム機「Xbox」と組み合わせたサービスや、自宅に居ながらにしてDVDタイトルを購入・レンタルできる「ひかり de DVD」の試験サービスなど、ノンPCの時代に向けた取り組みも熱心だ。いずれも最大100Mbpsを占有するTEPCOひかりの安定したインフラが前提となっはじめて使いこなせるサービスだと言える。

個人放送局などの コミュニティー型コンテンツが充実

東京電力が次世代の通信技術として取



り組み、実験を開始しているのがPLC(電力線通信)だ。電線を使ってデータ通信をする技術で、これが実用化されると家庭内の電源コンセントを「通信への入り口」として利用することが可能となる。家庭におけるブロードバンドの未来は“光ファイバー”“PLC”“情報家電”が三位一体で発展することもありえるだろう。

またTEPCOひかりコンテンツサイト「casTY(キャストイ)は、専用ツールで簡単にインターネット放送を始められる個人放送局「ひかりライブ」や、個性豊かな住民の様子が24時間365日ライブ中継されてリアルタイムに掲示板でやりとりできる「ひかり荘」といった双方向のコミュニケーションを充実させたコンテンツが揃っているのが大きな特徴だ。

各プロバイダーごとのサービス概要と利用料金(ホームタイプ対応プラン)

提携プロバイダー	Powered Internet [POINT]	So-net	@nifty	BIGLOBE	DION	ASAHI ネット	hi-ho	ODN
初期費用	30,450円*1	30,450円*4	33,075円*4	33,075円*4	30,450円	33,075円*1	30,450円*1	30,450円*4
月額利用料	プロバイダー料+回線利用料 5,985円*2*3	5,985円*5	5,985円*7	5,985円*5*8	6,804円	5,859円*9	6,930円*11	6,699円*6
回線終端装置	945円*2	945円*5	945円*7	945円*5	945円	945円*9	945円	945円
メールアドレス	1個	4個	5個	5個	1個	1個	4個	1個
基本ホームページ容量	5MB	10MB	100MB	100MB	20MB	100MB	50MB	5MB
IP電話対応	サービス名称 POINT Phone ひかり	So-net フォン	@nifty フォン-C	BIGLOBE フォン(PN)	KDDI-IP 電話	IP 電話C	未対応	ODN IP フォン
月額基本料	987円	無料	無料	無料	294円	無料	-	無料
機器レンタル料	546円	525円*6	525円*7	504円	399円	504円*10	-	399円

提携プロバイダー	ParkcityNet	リンククラブ	小田急 ケーブルビジョン	U-net SURF	DTI	テブコ ケーブルテレビ	スピードネット
初期費用	31,290円*1	29,000円*4	31,500円*1	33,075円*1	30,450円*4	30,450円*1	31,500円
月額利用料	プロバイダー料+回線利用料 5,880円*2*12	5,100円*7	6,468円*14	6,143円*10	5,985円*6	6,195円	5,859円
回線終端装置	630円*2	900円*7	945円*10	945円*10	945円*6	945円	945円
メールアドレス	5個	2個*13	5個	1個	1個	1個	1個
基本ホームページ容量	10MB	100MB*13	10MB	20MB	50MB	オプション	5MB
IP電話対応	サービス名称 未対応	未対応	IP電話「もしもし」 315円*1	未対応	未対応	未対応	対応中
月額基本料	-	-	315円*1	-	-	-	294円
機器レンタル料	-	-	315円*1	-	-	-	504円

- *1 3月31日まではキャンペーンにより無料
- *2 3月31日までの申し込みで最大6か月間無料
- *3 「POINT Phone ひかり」とセット利用で231円割り引き
- *4 4月30日まではキャンペーンにより無料
- *5 4月30日までの申し込みで最大6か月間無料
- *6 4月30日までの申し込みで最大3か月間無料
- *7 4月30日までの申し込みで1年間半額
- *8 「BIGLOBE フォン(PN)」とセット利用で126円割り引き
- *9 3月31日までの申し込みで1年間半額
- *10 3月31日までの申し込みで最大3か月間無料

- *11 3月31日までの申し込みで、加入月無料および15,000円(月額料金2か月相当分)をキャッシュバック
 - *12 CATV放送サービスとのバック加入で、525円割り引き
 - *13 リンククラブプロバイダーサービスへの入会が必要
 - *14 OCVのCATVサービスとセット利用で630円割り引き
- 最大通信速度は下り上り最大100Mbps(ベストエフォート)
IPアドレスはすべて動的なグローバルIPアドレスが1個
PC接続可能台数は5台
料金およびキャンペーン内容は2月16日時点のもの

問い合わせ先

東京電力株式会社

TEPCOひかり カスタマーセンター
0120-966-881 / 03-4477-8814
(年中無休 9:00 - 18:00 特定休日を除く)

光回線料金込みで割安なBフレットのセット販売を実施

@nifty

ニフティ

(URL) <http://www.nifty.com/setsuzoku/hikari/>

ISP

パソコン通信の時代から接続サービスを提供するニフティ。常にユーザーニーズを捉えてサービスを展開する同社は、プロバイダーサービスとBフレットとをセットにしてワンストップで提供する「@nifty 光 with フレツ」をいち早く開始し、光回線ユーザー数を増やしている。

光の時代であればこそ

「3つの安心」を提供

ニフティはパソコン通信の時代から数えると19年にわたり、一般ユーザーに接続サービスを提供している。光ファイバーの時代になっても良質な通信サービスを提供する同社の姿勢に一分のかけりもない。NTT 東日本・NTT 西日本の「Bフレット」を使って提供する光ファイバー接続サービス「@nifty 光 with フレツ」では、料金やセキュリティなど

の事柄に対し、「3つの安心」を提供している。1つ目の「お値段」安心」の部分では、従来型のNTTのBフレットと@niftyとをそれぞれに単独契約した場合に比べ、「@nifty 光 with フレツ」では総支払い額が月額で714円～1,291円低く抑えられている。また、@niftyで料金を一括で支払える点も特徴だ。

2つ目の「セキュリティ」安心」では、ウイルスや不正侵入の脅威から利用者をガードするサービスをバックにした「常時



安全セキュリティ24」を月額420円で提供している。また、初心者にとってもうれしいのは3つ目の「サポート」安心」だ。@niftyの長い経験から蓄積されたノウハウで、初心者から上級者まで万全なサポートを提供している。

家族みんなにやさしい

@niftyの光ファイバー接続

「@nifty 光 with フレツ」では、主に家庭での利用を想定した付加サービス「みんなの光プロジェクト」を用意している。メールボックス&ホームページ容量を100MBまで無料で拡張可能、家庭用IDは4つまで無料、子供を有害サイトから守る「Webフィルタ for Kids」などを無料で利用できる。

さらに、3月にはNTT 地域会社が提供している「ひかり電話」に対応予定だ。これは光ファイバー回線を利用したIP電話で、現在利用中の「03」などの電話番号をそのまま使えるメリットがある。NTTの固定電話を解約して電話の基本料金を節約することも可能なのだ。

@niftyでは4月30日までの予定で、初期費用が無料、月額費用が1年間割引、無料の出張設定サポート付きの加入キャンペーンを実施している。

サービス概要

サービス名称	@nifty 光 with フレツコース / ホームタイプ	@nifty 光 with フレツコース / マンションタイプ (VDSL方式の場合)*2
利用回線	NTT 東日本「ハイパーファミリータイプ」 「ニューファミリータイプ」 NTT 西日本「フレツ・光プレミアム」 「ファミリー100タイプ」	NTT 東日本「マンションタイプ」 NTT 西日本「マンションタイプ」
最大通信速度	下り上り最大100Mbps	下り上り最大100Mbps
IPアドレス数	1	1
ダイナミックDNS	オプション	オプション
接続可能台数	5台	5台
接続方式	PPPoE	PPPoE
メールアドレス	5個	5個
ホームページ容量	基本100MB	基本100MB
IP電話	@nifty フォン-C、F ひかり電話*1	@nifty フォン-C、F
映像配信サービス	@nifty TV on 4th MEDIA(オプション)*3	@nifty TV on 4th MEDIA(オプション)*3

*1 NTT 東日本のBフレツハイパーファミリータイプのみ対応(3月～)

*2 このほか、LAN配線やワイヤレス方式もあり

*3 3月末までまでに所定の手続きをすると、専用チューナーと契約料が無料(「@nifty 光 with フレツ」NTT 東日本エリアのみ) ベストエフォートサービスのため、インターネット利用時の通信速度を保証するものではない

利用料金

サービス名称	@nifty 光 with フレツコース / ホームタイプ		@nifty 光 with フレツコース / マンションタイプ (VDSL方式の場合)		
	NTT 東日本	NTT 西日本	NTT 東日本	NTT 西日本	
回線事業者と利用回線	ハイパーファミリータイプ / ニューファミリータイプ	フレツ・光プレミアム / ファミリー100タイプ	マンションタイプ	マンションタイプ	
初期費用*4	15,068円	29,295円	7,455円	13,335円	
月額利用料	プロバイダー料 + 回線利用料*5*6	5,565円(3,465円)	5,324円(3,224円)	プラン1: 3,728円(2,153円) プラン2: 3,308円(1,733円)	プラン1: 3,612円(2,037円) プラン2: 3,140円(1,565円)
	回線終端装置 / 屋内配線 / VDSL装置利用料	1,155円	1,155円	420円	525円
	IP電話対応機器	399円	315円	399円	315円
	レンタル料				

*4 4月30日まではキャンペーンにより無料

*5 @niftyに支払う料金。()内は4月30日までの割引キャンペーンを適用した場合の1年間の料金

*6 プラン1: 8件以上の申し込みが見込まれる場合、プラン2: 16件以上一括して申し込みの場合
NTT 西日本は、2年間の継続利用を前提とした料金

問い合わせ先

ニフティ株式会社

@nifty ブロードバンド導入ご相談窓口

0120-50-2210

(9:00 ~ 22:00 年中無休)

家族での利用を想定した便利な回線料込みのセットプラン

BIGLOBE

NEC

(URL) <http://www.biglobe.ne.jp/>

ISP

BIGLOBEの光ファイバー接続サービスは、Bフレッツ、TEPCOひかり、アクセスコムファの3種類の回線事業者に対応し、BフレッツとTEPCOひかりは回線利用料込みのプランとなっている。セキュリティ対策機能や追加メールアドレスなど、家族利用向けの割安な価格設定が特徴だ。

BIGLOBE ストリームや ウェブリアルバムを“光”で活用

BIGLOBEが提供するパソコン向けの動画サービス「BIGLOBE ストリーム」やオンラインアルバム「ウェブリアルバム」は、特に光回線ユーザーに相性がいい。「BIGLOBE ストリーム」は、最新のニュース映像などを無料で視聴できるほか、映画やドラマなどの有料コンテンツもあり、光回線ならこれらを高画質で楽しめる。また、ウェブリアルバムはBIGLOBEのブ

ロードバンド対応コースを利用してれば最大100MBのディスク容量を無料で使えるため、ウェブで高画質のきれいな写真をたくさん公開できる。

さらに、回線にBフレッツを選べば、テレビでも視聴できる映像配信サービス「BIGLOBE.TV on 4th MEDIA」やインターネットTV電話「BIGLOBE TVフォン」も活用できる。TEPCOひかりとアクセスコムファのユーザーなら、「BBit-Japan」の6ジャンル・約4000タイトルの映



像コンテンツを視聴でき、選択する回線事業者によってサービス内容は異なる。

家族4人分のアカウントや 「セキュリティセットV2」が無料

BIGLOBEでは、Bフレッツ、TEPCOひかり、アクセスコムファの回線を選択できるが、利用できるBIGLOBEの基本機能はどれも同じだ。100MBのメールボックス容量を持つメールアドレスに加え、ウェブリアルバム、ウェブブログ、ホームページに自由に割り当てられる100MBのディスク容量が無料で使える。

2月1日から受け付けが開始されたBフレッツの回線利用料セットプラン「光パック with フレッツ」は、家族4人分のメールアドレスが無料なうえに、「セキュリティセットV2」(メールのウイルスチェック機能とファイアーウォール機能)も家族4人で利用できる。セキュリティ機能を個々に申し込んだ場合に比べ、コストメリットが大きい。4月30日までに申し込みれば、「光パック with フレッツ」の場合は月額料金3か月分と出張サポートが無料になり、TEPCOひかりでも月額料金6か月分が無料になるほか、最大9,000円分の特典が付くプロバイダー乗り換えキャンペーンも展開している。

サービス概要

サービス名称	光パック with フレッツ Bフレッツ「ファミリー」	光パック with フレッツ Bフレッツ「ライトファミリー」	TEPCOひかり 「ホーム/ SOHO」*2	アクセスコムファ 「ホーム」*3
利用回線	NTT 東日本「ハイパーファミリータイプ」「ニューファミリータイプ」、NTT 西日本「フレッツ・光プレミアム」「ファミリー100タイプ」*1		TEPCOひかり「ホームタイプ」「SOHOタイプ」	アクセスコムファ「ホームタイプ」
最大通信速度	下り上り最大100Mbps		下り上り最大100Mbps	下り上り最大100Mbps
IPアドレス数	1		1	1
ダイナミックDNS	オプション		オプション	オプション
接続可能台数	5台		5台	5台
接続方式	PPPoE		PPPoE	PPPoE
メールアドレス	5個		5個	5個*4
ホームページ容量	基本100MB		基本100MB	基本100MB
IP電話	BIGLOBEフォン(PN) BIGLOBE TVフォン(PN)(有料)		BIGLOBEフォン(PN)	BIGLOBEフォン(PN)
映像配信サービス	BIGLOBEストリーム BIGLOBE.TV on 4th MEDIA(有料)		BIGLOBEストリーム	BIGLOBEストリーム
セキュリティセットV2	無料	有料	無料	無料*4

*1 このほか、「Bフレッツ・マンションタイプ」対応のプランあり
 *2 このほか、「マンションタイプ」対応のプランあり
 *3 このほか、「マンション」対応のプランあり。一部機能制限のある「アクセスコムファ・ライト」コースあり
 *4 「アクセスコムファ・ライト」は有料
 ベストエフォートサービスのため、インターネット利用時の通信速度を保証するものではない

利用料金

サービス名称	光パック with フレッツ		TEPCOひかり		アクセスコムファ		
	NTT 東日本	NTT 西日本	東京電力		中部電力		
回線事業者と利用回線	ハイパーファミリータイプ/ニューファミリータイプ	フレッツ・光プレミアム/ファミリー100タイプ	ホームタイプ	マンションタイプ(VDSL100M)	ホームタイプ	マンションタイプ(Vタイプ)	
初期費用	0円*5	0円*5	33,075円*6	21,525円*6	26,250円*7	18,900円*7	
月額利用料	プロバイダー料*8	5,880円	5,985円*10	3,885円*10	2,079円*10	2,079円*10	
	回線利用料*9	プロバイダー料に含まれる		プロバイダー料に含まれる		3,045円	2,835円
	回線終端装置/屋内配線/VDSL装置利用料*9	1,155円	1,155円	945円	630円	1,155円	420円
IP電話対応機器レンタル料	399円	315円	504円	504円	504円	504円	

*5 追加工事がある場合は別途有料 *6 4月30日まではキャンペーンにより無料
 *7 5月10日まではキャンペーンにより無料(平日工事の場合)
 *8 BIGLOBEに支払う料金 *9 アクセスコムファのみ、中部電力に支払う料金
 *10 「IP電話セット割引」利用時は126円の割引になる

問い合わせ先
BIGLOBE 電話で入会センター
 0120-17-0962(通話料無料)
 (9:00 - 21:00 土日・祝日受付OK)
 上記以外の時間は資料請求のみ可

ユーザーサポートに定評があるこだわりのプロバイダー

DTI

ドリーム・トレイン・インターネット

(URL) <http://www.dti.ad.jp/>

ISP

DTIは、各種雑誌のサポート満足度ランキングで常に上位に登場するなど、ユーザーサポートに定評がある。国内最大級の32Gバックボーンを用意し、セキュリティー機能も充実。速さに加えて、より安心・安全を重視するユーザーに人気のプロバイダーだ。

評価の高いユーザーサポート 2種類の回線事業者に対応

DTIの最大の魅力は、光回線の利用だけに限らない評価の高いユーザーサポートだ。DTIのサポートが多くのユーザーに支持される理由は、メールはもちろん電話やFAXも含めた週7日のサポート体制のほか、インターネット、OS、PC周辺機器などに精通した専門の担当者がその応対業務を行う点だ。データベース化された顧客の過去の質問内容

や使用環境も照らし合わせながら、問い合わせに対して的確かつ迅速に回答してくれる。

DTIは、BフレッツとTEPCOひかりの2種類の光回線対応プランを用意。メールやホームページなど基本的なサービスはどちらの回線事業者を利用していても違いはないが、IP電話サービスだけはBフレッツを選択した場合のみ「DTIフォン」(NTTコミュニケーションズのVoIP網を活用)を利用できる。IP電話は、どこの



VoIP網を使ったサービスかによって、相互接続の通話が無料か有料かが決まるため、頻りに電話をしたい相手がいるならば、加入前にあらかじめ確認しておきたい。

Xboxを活用したビデオチャットや 充実のセキュリティー機能

光回線ユーザー向けに用意された「TEPCOひかり+ Xbox Video Chatプラン」が興味深い。これは家庭用ゲーム機のXboxをセットにした3月31日までの期間限定プランで、Xbox Live機能を利用して、自宅のテレビ画面でオンラインゲームやビデオチャットを楽しめる。

さらに、迷惑メール遮断機能(無料)やウイルスチェック(月額262.5円)のほかに、よりセキュリティー強度を高めるシマンテックのオンラインセキュリティーサービスがオプションとして用意されている。「Norton Internet Security」や「Norton Personal Firewall」を月額料金で気軽に使え、不正侵入の防止や個人情報の漏れ防止対策に効果的だ。

4月30日までに加入すると、工事費などの回線事業者の初期費用に加えて、DTIの月額利用料金が3か月無料になる。この期間なら訪問設定サポートも無料なので、導入も簡単だ。

問い合わせ先
株式会社ドリーム・トレイン・インターネット
0120-830501
(平日 11:00 ~ 19:00、土曜 11:00 ~ 17:00、日祝休み)

サービス概要

サービス名称	TEPCOひかり・ホームプラン*1	TEPCOひかり・マンションVプラン*2	FTTHファミリープラン	FTTHマンションプラン(VDSL)*3
利用回線	TEPCOひかりホームタイプ	TEPCOひかりマンションタイプ	NTT東日本「ハイパーファミリータイプ」「ニューファミリータイプ」、NTT西日本「フレッツ・光プレミアム」「ファミリー100タイプ」*4	NTT東日本「マンションタイプ」、NTT西日本「マンションタイプ」
最大通信速度	下り上り最大100Mbps	下り最大57Mbps、上り最大33Mbps	下り上り最大100Mbps	
IPアドレス数	1		1	
ダイナミックDNS	-		-	
接続可能台数	5台		5台	
接続方式	PPPoE		PPPoE	
メールアカウント	1個		1個	
ホームページ容量	50MB		50MB	
IP電話	-		DTIフォン	
映像配信サービス	BBit-Japan(電力系ブロードバンドコンテンツ)		BBit-Japan(電力系ブロードバンドコンテンツ)	

*1 3月31日まで Xbox ビデオチャットを合体した「TEPCOひかり・ホーム+ Xbox Video Chatプラン」もある
 *2 3月31日まで Xbox ビデオチャットを合体した「TEPCOひかり・マンションVプラン+ Xbox Video Chatプラン」もある
 *3 このほか、LAN配線やワイヤレス方式もあり
 *4 このほか、SOHO向けの「Bフレッツ・ベーシックタイプ」にも対応
 ベストエフォートサービスのため、インターネット利用時の通信速度を保証するものではない

利用料金

サービス名称	TEPCOひかり・ホームプラン	TEPCOひかり・マンションVプラン	FTTHファミリープラン		FTTHマンションプラン(VDSL)		
			NTT東日本	NTT西日本	NTT東日本	NTT西日本	
回線事業者と利用回線	TEPCOひかりホームタイプ	TEPCOひかりマンションタイプ	ハイパーファミリータイプ/ニューファミリータイプ	フレッツ・光プレミアム/ファミリー100タイプ	マンションタイプ	マンションタイプ	
初期費用*5	30,450円	18,900円	15,067.5円	29,295円	11,340円	21,840円	
月額利用料	プロバイダー料*6	5,985円	3,570円	2,079円	2,079円	2,079円	
	回線利用料*7	プロバイダー料に含まれる		4,305円	4,515円	3,045円 プラン1: プラン2: 2,625円	3,255円 プラン1: プラン2: 2,730円
	回線終端装置/屋内配線/VDSL装置利用料	945円	420円	1,155円	1,155円	420円	525円
	IP電話対応機器レンタル料	-	-	399円	315円	399円	315円

*5 4月30日まではキャンペーンにより無料
 *6 DTIに支払う料金。4月30日までに申し込むと最大3か月分無料
 *7 プラン1: 8件以上の申し込みが見込まれる場合、プラン2: 16件以上一括して申し込む場合

豊富なブロードバンド対応コンテンツとIPテレビ電話を用意

ぷらら

ぷららネットワークス

(URL) <http://www.plala.or.jp/access/>

ISP



ぷららは、豊富な割引サービスとカスタマイズ性の高いメール、ホームページサービスが魅力のプロバイダーだ。光回線ユーザー向けに、ブロードバンド映像配信サービス「Plala.TV on 4th MEDIA」とIPテレビ電話「ぷららフォン for フレッツ プラスV」を積極的に展開している。

光回線でブロードバンド映像配信とテレビ電話を満喫

ぷららで光を使うなら、「Plala.TV on 4th MEDIA」や「ぷららフォン for フレッツ プラスV」などの映像系オプションサービスがおすすめだ。「Plala.TV on 4th MEDIA」は、番組表に沿って放送される専門チャンネル配信と、見たいときにいつでも見られるビデオ、カラオケコンテンツが用意されたブロードバンド映像配信サービス。専門チャンネルは42ch、ビデオは約3000タイトルと豊富なコンテンツを誇る。「ぷららフォン for フレッツ

プラスV」は、高品質な映像・音声通信を実現したIPテレビ電話サービスで、IPテレビ電話同士の通話でも3分8.4円から利用できる気軽さが魅力だ。

映像やIPテレビ電話はADSL回線でも楽しめるが、安心して、しかも同時にいくつものサービスを使いたいなら、帯域に余裕のある光回線がベスト。たとえば、「Plala.TV on 4th MEDIA」は光回線であればDVD並みの品質で視聴が楽しめる高画質モードを選択できる。回線速度や帯域に左右されず、ゆとりを持って視聴できるのも光回線ならではの。

「無料化計画」でさらに安くフリーチケットでカスタマイズ

ぷららでは、月額基本料金がさらに安くなる割引サービス「ぷらら無料化計画」を用意している。提携しているオンラインショップの購入額に応じてぷららの月額基本料金が最大12か月分まで割り引きとなるシステムだ。

ぷららは基本機能に加えて、細分化した各種サービスの中から一定額分だけ自由に選択して利用できる「フリーチケット」と呼ばれる仕組みを採用。電子証明書発行サービスや追加メールアドレス、メーリングリスト、5MBから100MBまで5MB刻みで選べるホームページスペースなどを選択できる。

現在、Bフレッツ基本工事料とぷらら月額利用料が最大5か月無料になる「Bフレッツスイッチキャンペーン」を実施(3月31日まで)。同時に「Plala.TV on 4th MEDIA」に加入すれば、さらに「Plala.TV on 4th MEDIA」の初期費用と対応チューナーが無料、月額利用料が3か月分無料などの特典も受けられるため、光回線を存分に楽しみたいユーザーは、この機会に乗り換えを検討してみるといいだろう。

サービス概要

サービス名称	Bフレッツセット	Bフレッツマンションセット(VDSL)*3
利用回線	NTT東日本「ハイパーファミリータイプ」 「ニューファミリータイプ」、NTT西日本「フレッツ・光プレミアム」ファミリー100タイプ*1	NTT東日本「マンションタイプ」、 NTT西日本「マンションタイプ」
最大通信速度	下り上り最大100Mbps	下り上り最大100Mbps
IPアドレス数	1	1
ダイナミックDNS	オプション	オプション
接続可能台数	5台	5台
接続方式	PPPoE	PPPoE
メールアカウント	1個*2	1個*2
ホームページ容量	フリーチケット適用*2	フリーチケット適用*2
IP電話	ぷららフォン for フレッツ	ぷららフォン for フレッツ
映像配信サービス	Plala.TV on 4th MEDIA(オプション)	Plala.TV on 4th MEDIA(オプション)

*1 このほか、SOHO向けの「Bフレッツ・ベーシックタイプ」にも対応
 *2 メールアドレスの追加やホームページ容量はフリーチケットの使用で拡張可能
 *3 このほか、LAN配線やワイヤレス方式もあり
 ベストエフォートサービスのため、インターネット利用時の通信速度を保証するものではない

利用料金

サービス名称	Bフレッツセット		Bフレッツマンションセット(VDSL)		
	NTT東日本	NTT西日本	NTT東日本	NTT西日本	
回線事業者と利用回線	ハイパーファミリータイプ /ニューファミリータイプ	フレッツ・光プレミアム /ファミリー100タイプ	マンションタイプ	マンションタイプ	
初期費用*4	15,067.5円	29,295円	11,340円	21,840円	
月額利用料	プロバイダー料*5	1,470円(1,260円)*7	892円(682円)*7	892円(682円)*7	
	回線利用料*6	4,305円	4,515円	プラン1: 3,045円 プラン2: 2,625円	プラン1: 3,255円 プラン2: 2,730円
	回線終端装置/屋内配線/ VDSL装置利用料	1,155円	1,155円	420円	525円
	IP電話対応機器 レンタル料	399円	315円	399円	315円

*4 3月31日まではキャンペーンにより無料
 *5 ぷららに支払う料金。()内は「ぷららフォン for フレッツ特割」適用料金。3月31日までに申し込むと最大5か月分無料
 *6 プラン1: 8件以上の申し込みが見込まれる場合、プラン2: 16件以上一括して申し込みの場合
 *7 フリーチケット適用オプションサービスを1,200円分利用できる

問い合わせ先
株式会社ぷららネットワークス
 入会受付窓口
 009192-39(通話料無料)
 (5/3 - 5/5と12/29 - 1/3を除く、
 平日10:00 - 22:00、土日祝12:00 - 19:00)
 kojino@plala.or.jp

メールサービスの充実と安価な固定 IP アドレスを用意

ASAHI ネット

朝日ネット

(URL) <http://www.asahi-net.or.jp/>

ISP

ASAHI ネットは、メールサービスや固定 IP アドレスなどインターネットの基本機能を充実させ、安価に提供するプロバイダーだ。ブロードバンドコンテンツよりもシンプルに ISP の機能だけを必要とする人におすすめできる。

月額費用無料の固定 IP サービスで手軽にサーバー運用

ASAHI ネットは、「B フレッツ」(ファミリータイプは月額 1,050 円)と「TEPCO ひかり」(ホームタイプは月額 5,859 円)をサポートしている。IP 電話は、NTT コミュニケーションズの「IP 電話 C」、NTT-ME (フレッツ) を利用した「IP 電話 F」のいずれかを選んで利用できる。頻りに電話したい相手がいれば、そのプロバイダーとの相互接続時の料金などを確認しておきたい。また B フレッツ対応コース

では、月額費用無料で固定 IP アドレスを取得できる(B フレッツ・ファミリー/マンションコースは別途初期費用 525 円がかかる)ので、ウェブカメラやサーバーを運用したい場合、手軽に導入できる。

メール容量は無制限

携帯電話からのメール送受信も可能

ASAHI ネットはメールサービスが充実しているのが特徴だ。メールボックスの保管容量は無制限。スパムブロック(無料)やウイルスチェック(月額 210 円)メー



リングリスト(初期費用 2,100 円 / 月額 525 円)も運営できる。「アイ・ドット E メール」(無料)を使えば携帯電話からメールの確認や送信もできる。さらに、メールで FAX の送受信や留守番電話の録音メッセージを添付ファイルとして取得できる「FAVO」(月額 315 円)も利用可能だ。

問い合わせ先

株式会社朝日ネット

<http://www.asahi-net.or.jp/>

(問い合わせフォームあり)

AP-NET@asahi-net.or.jp

法人向けサービスで培ったノウハウで安定した品質を実現

WAKWAK

NTT-ME

(URL) <http://www.wakwak.com/>

ISP

NTT-ME は IP 電話サービスの VoIP 網を構築している。その NTT-ME のプロバイダー事業である WAKWAK は、法人向けサービスで培ったノウハウを生かし、遅延の少ない高品質な IP 電話の提供を期待できる。

自社バックボーンによる安定した IP 電話を提供

WAKWAK は、B フレッツをアクセス回線に利用し、マンションタイプの「ざんまい B マンション」(月額 840 円)とハイパーファミリー/ニューファミリー/ファミリー 100 タイプの「ざんまい B ファイン」(月額 1,260 円)が基本コースとなっている。IP 電話は同社の VoIP 網を使った「WAKWAK フォン」を提供している。

長期利用者への割引制度のほか、プロバイダー乗り換えユーザー向けに割引

サービスも用意。4 月末までのキャンペーンでは、WAKWAK を通じて B フレッツを申し込むことで、月額利用料が 6 か月分無料になる。

モバイルユーザーも満足の

無線 LAN スポット利用可能サービス

WAKWAK はモバイル環境でのアクセスも充実。基本コースは、@FreeD、AIR-EDGE、M フレッツ/フレッツ・スポット、NTT-BP の「無線 LAN 倶楽部」に対応している(別途各社への申し込み



が必要)。ワイドコース(マンションタイプは月額 1,785 円、ハイパーファミリー/ニューファミリー/ファミリー 100 タイプは 2,100 円)にすれば、各モバイルオプションの追加料金なしで利用できる。外出先でもインターネットへ頻りにアクセスしたいハイピーユーザーも満足できる内容だ。

問い合わせ先

株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー

WAKWAK ヘルプデスク

0120-309092

(平日 10:00 ~ 21:00、土日祝 10:00 ~ 19:00)

高いパフォーマンスを誇るビジネスのための光ファイバー

BROAD-GATE 02

有線ブロードネットワークス (3月1日よりUSENに社名変更)
(URL) <http://www.usen.com/gate02/>

回線事業者 法人向け

ビジネスに必要とされるのは、高品質で低価格、そして安心して使える光ファイバーだ。有線ブロードネットワークスは、「光ビジネスアクセス」「光ギガビットアクセス」「GATE 02 Phone」の3コースで、ビジネスニーズに応える。

低価格な占有型光ファイバー

「光ビジネスアクセス」

「光ビジネスアクセス」は占有型光ファイバー 100Mbps を自社内まで直接引き込む回線・プロバイダー込みの接続サービスだ。インターフェイスは100BASE-TX直結。PPPoEによるオーバーヘッドもなく、速度を極限まで引き出せる。サービスタイプは、IP数によって4種類。「IP1」なら月額23,100円、サーバーを設置できる「IP8」でも月額33,600円だ。また1Gサービスの「光ギガビットアクセス」も月

額504,000円と低価格で提供している。

品質や監視体制も充実しており、バックボーンは大型ルーターを使った10ギガビットクラスの回線網でIXへ接続。24時間365日の監視体制に、別途サポートプラスオプション(月額1,050円)を契約すれば、夜間のトラブルにも対応可能だ。

電話番号もそのまま使い勝手と品質が魅力の「GATE 02 Phone」

「GATE 02 Phone」は、既存の電話番号や電話設備がそのまま使えるオフィス



IP電話だ。固定電話並みの安定した通話品質を実現するとともに、100Mbpsの高速インターネット接続環境も手に入るコストメリットの高さが魅力。4チャンネル月額26,250円(1万円分の通話料込み)から利用できる。

問い合わせ先

株式会社有線ブロードネットワークス
(3月1日より(株)USENに社名変更)
ブロードバンドカスタマーセンター
0120-539-053
(10:00 ~ 18:00 土・日・祝除く)

VPNからTV会議まで豊富なオプションサービスが魅力

MORANET

モーラネット

(URL) <http://www.moranet.co.jp/>

回線事業者 法人向け

企業で光ファイバーを活用しようとするれば、サーバーをはじめとする各種サービスも必要になる。MORANETは、回線はもちろん、VPNやデータセンターなど、光回線をより活用できる周辺サービスまで提供している。

VPNにIPカメラやTV会議までさまざまなサービスを提供

MORANETは専有型の光ファイバー接続サービスだ。接続にはPPPoEを使わないため速度のロスもない。サービスはIP数ごとに「IP1」「IP8」「IP16」「IP32」の4種類。「IP1」は月額23,100円、「IP8」は月額33,600円だ。より高速な回線を必要とするユーザーにはギガビットサービス(月額504,000円)を用意されている。

MORANETではVPNやIP電話など光回線を活用するサービスだけでなく、

ASP型のサービスとして、ウイルススキャン、IPカメラ、TV会議も提供しており、容易に導入できる。なかでもTV会議システムは、専用ソフトウェアが不要なブラウザタイプ。1IDにつき月額2,100円で、最大10人での同時通信が可能だ。

データセンターの併用で自社外サーバーの運営も容易

光ファイバーをクライアントのアクセス回線だけに使い、サーバーは外部に置きたい場合、MORANETの共用レンタル



サーバーや、高度にカスタマイズしたサーバーも設置可能なデータセンターを利用するといいい。さらにMORANETでは、光回線およびサーバーの導入を検討している企業向けに、無料のコンサルティングサービスも用意。まずは相談してみるといいだろう。

問い合わせ先

株式会社モーラネット
モーラネットカスタマーセンター
0120-956-987 (平日9:30 ~ 18:00)
info@moranet.co.jp



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp